【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年10月28日(2022.10.28)

【公開番号】特開2022-89205(P2022-89205A)
【公開日】令和4年6月16日(2022.6.16)
【年通号数】公開公報(特許)2022-108
【出願番号】特願2020-201389(P2020-201389)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ 20/06(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ 20/06 ３００

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月27日(2022.9.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の所属組織に属した過去があり、かつ前記第１の所属組織とは異なる第２の所属組織に属している構成員が入出金取引を行うための管理装置であって、前記第１の所属組織において過去に所属していた前記構成員であることを識別するための第１の構成員識別情報と、前記第２の所属組織における前記構成員の構成員番号とを紐付けて記憶する記憶手段と、前記構成員番号を前記入出金取引の処理に付す手段とを少なくとも有することを特徴とする管理装置。
【請求項２】
前記記憶手段が、前記第１の構成員識別情報に紐付けて、前記構成員の残高情報を記憶している請求項１記載の管理装置。
【請求項３】
前記記憶手段が、前記第１の構成員識別情報に紐付けて、前記第１の所属組織の第１の所属組織識別番号を記憶している請求項１又は２に記載の管理装置。
【請求項４】
前記記憶手段が、前記構成員番号に紐付けて、前記構成員の残高情報を記憶している請求項１～３のいずれかに記載の管理装置。
【請求項５】
前記記憶手段が、前記構成員番号に紐付けて、前記第２の所属組織の第２の所属組織識別番号を記憶している請求項１～４のいずれかに記載の管理装置。
【請求項６】
前記記憶手段が、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号も記憶しており、前記第１の構成員識別情報と、前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号を消去する手段をさらに有する請求項１～５のいずれかに記載の管理装置。
【請求項７】
前記記憶手段が、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号及び前記旧構成員番号に紐付けて入出金取引情報も記憶しており、前記第１の構成員識別情報と、前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号及び前記入出金取引情報を消去する手段をさらに有する請求項１～６のいずれかに記載の管理装置。
【請求項８】

前記第１の所属組織及び／又は前記第２の所属組織が民間組織である請求項１～７のいずれかに記載の管理装置。
【請求項９】
前記第１の所属組織及び前記第２の所属組織のいずれもが互いに異なる企業である請求項１～８のいずれかに記載の管理装置。
【請求項１０】
前記入出金取引がカード決済であり、前記構成員番号に基づき前記カード決済用のカードを発行する手段をさらに有する請求項１～９のいずれかに記載の管理装置。
【請求項１１】
第１の所属組織に属した過去があり、かつ前記第１の所属組織とは異なる第２の所属組織に属している構成員が入出金取引を行うための管理方法であって、前記第１の所属組織において過去に所属していた前記構成員であることを識別するための第１の構成員識別情報と、前記第２の所属組織における前記構成員の構成員番号とを紐付けて記憶する記憶ステップと、前記構成員番号を前記入出金取引の処理に付すステップとを含むことを特徴とする管理方法。
【請求項１２】
前記記憶ステップが、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号も記憶し、さらに、前記第１の構成員識別情報と、前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号を消去するステップを含む請求項１１に記載の管理方法。
【請求項１３】
第１の所属組織に属した過去があり、かつ前記第１の所属組織とは異なる第２の所属組織に属している構成員が入出金取引を行うための管理装置と、前記第１の所属組織の第１の管理サーバーと、前記第２の所属組織の第２の管理サーバーとがそれぞれ通信回線を介して通信可能に接続されている管理システムであって、前記管理装置が、前記第１の所属組織において過去に所属していた前記構成員であることを識別するための第１の構成員識別情報と、前記第２の所属組織における前記構成員の構成員番号とを紐付けて記憶する記憶手段と、前記構成員番号を前記入出金取引の処理に付す手段とを少なくとも有することを特徴とする管理システム。
【請求項１４】
前記記憶手段が、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号も前記第１の管理サーバーから受信して記憶しており、前記第１の管理サーバーから受信した前記第１の構成員識別情報と、前記第２の管理サーバーから受信した前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号を消去する手段をさらに有する請求項１３に記載の管理システム。
【請求項１５】
第１の所属組織に属した過去があり、かつ前記第１の所属組織とは異なる第２の所属組織に属している構成員が入出金取引を行うための管理装置を、前記第１の所属組織において過去に所属していた前記構成員であることを識別するための第１の構成員識別情報と、前記第２の所属組織における前記構成員の構成員番号とを紐付けて記憶する記憶手段、及び前記構成員番号を前記入出金取引の処理に付す手段としてそれぞれ機能させるプログラム。
【請求項１６】
前記記憶手段が、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号も記憶しており、さらに、前記第１の構成員識別情報と、前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号を消去する手段として機能させる請求項１５記載のプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００８】
［１１］　第１の所属組織に属した過去があり、かつ前記第１の所属組織とは異なる第２の所属組織に属している構成員が入出金取引を行うための管理方法であって、前記第１の所属組織において過去に所属していた前記構成員であることを識別するための第１の構成員識別情報と、前記第２の所属組織における前記構成員の構成員番号とを紐付けて記憶する記憶ステップと、前記構成員番号を前記入出金取引の処理に付すステップとを含むことを特徴とする管理方法。
［１２］　前記記憶ステップが、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号も記憶し、さらに、前記第１の構成員識別情報と、前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号を消去するステップを含む前記［１１］に記載の管理方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
［１３］　第１の所属組織に属した過去があり、かつ前記第１の所属組織とは異なる第２の所属組織に属している構成員が入出金取引を行うための管理装置と、前記第１の所属組織の第１の管理サーバーと、前記第２の所属組織の第２の管理サーバーとがそれぞれ通信回線を介して通信可能に接続されている管理システムであって、前記管理装置が、前記第１の所属組織において過去に所属していた前記構成員であることを識別するための第１の構成員識別情報と、前記第２の所属組織における前記構成員の構成員番号とを紐付けて記憶する記憶手段と、前記構成員番号を前記入出金取引の処理に付す手段とを少なくとも有することを特徴とする管理システム。
［１４］　前記記憶手段が、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号も前記第１の管理サーバーから受信して記憶しており、前記第１の管理サーバーから受信した前記第１の構成員識別情報と、前記第２の管理サーバーから受信した前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号を消去する手段をさらに有する前記［１３］に記載の管理システム。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
［１５］　第１の所属組織に属した過去があり、かつ前記第１の所属組織とは異なる第２の所属組織に属している構成員が入出金取引を行うための管理装置を、前記第１の所属組織において過去に所属していた前記構成員であることを識別するための第１の構成員識別情報と、前記第２の所属組織における前記構成員の構成員番号とを紐付けて記憶する記憶手段、及び前記構成員番号を前記入出金取引の処理に付す手段としてそれぞれ機能させるプログラム。
［１６］　前記記憶手段が、前記第１の所属組織に属していた前記構成員の旧構成員番号も記憶しており、さらに、前記第１の構成員識別情報と、前記構成員番号とを紐付けて記憶する際に、前記旧構成員番号を消去する手段として機能させる前記［１５］記載のプログラム。